

Richard Strauss
Gesellschaft Japan

日本リヒャルト・シュトラウス協会
第193回例会・2022年度特別演奏会

小森輝彦・井出徳彦 Liederabend

小森輝彦 (Br) 井出徳彦 (Pf)

リヒャルト・シュトラウス

《8つの詩》「最後の手紙」 Op. 10 より

《素朴な歌》 Op. 21

《4つの詩》 Op. 27 より 他

2022年12月18日(日) 19:15開演
サントリーホール ブルーローズ

※開演前に日本リヒャルト・シュトラウス協会会員総会を行います。
会員以外の方は総会が終了するまで入場できませんので、何卒ご了承ください。

[入場料] (全席自由)

一般: 2,000円

学生: 1,000円

日本リヒャルト・シュトラウス協会会員: 1,000円

[お申込み・お問合せ]

日本リヒャルト・シュトラウス協会

Tel: 03-3582-1266 平日13時~17時(不定休)

E-mail: japanrs@tkk.att.ne.jp

サントリーホールへのアクセス

溜池山王駅 13番出口

東京メトロ銀座線改札より徒歩7分 / 東京メトロ南北線改札より徒歩10分

六本木一丁目駅 3番出口

東京メトロ南北線改札より徒歩5分





Profil

小森 輝彦 (こもり てるひこ) バリトン

日本人初のドイツ宮廷歌手。プラハ州立歌劇場での欧州デビュー後 12年間、独アルテンブルク・ゲラ市立歌劇場専属第一バリトンとして活躍の傍らザルツブルク音楽祭をはじめヨーロッパ各地に客演し、演じた役は 70 を超える。帰国後も東京二期会、新国立劇場などの数多くの公演で主役を務め、流麗な歌唱と強い存在感で成功に導いている。ドイツリート of の担い手としてコンサートの活動も多く、その深い文学的解釈に裏付けられた表現力で常に本場ドイツの聴衆の強い支持を受けてきた。国内では、北九州国際音楽祭に 3 年にわたり歌曲リサイタルで招聘されるなど、充実期を迎えた演奏に熱い期待が寄せられている。2019 年に井出徳彦とともにリリースした初アルバム『R.シュトラウス歌曲集』はレコード芸術誌で準特選盤。

東京音楽大学教授。東京音楽大学附属高等学校長。日本 R.シュトラウス協会常務理事。日本声楽発声学会理事。二期会会員。公式ホームページ <https://www.teru.de>

井出 徳彦 (いで のりひこ) ピアノ

静岡県出身。桐朋学園芸術短期大学ピアノ専修卒業。在学中、中国西安音楽大学で行われた演奏会にて初めてリートの伴奏者を務めた事により、伴奏への強い興味を覚える。2006 年にオーストリアへ渡り、ウィーン国立音楽大学歌曲伴奏科にて、David Lutz 氏の下で研鑽を積む。2012 年夏に帰国。帰国後は伴奏者として、北九州国際音楽祭ドイツ歌曲サロンコンサートや桐朋学園ファカルティーコンサート、日本 R.シュトラウス協会主催の歌曲例会、東京文化会館主催『歌劇ヴォルフ イタリア歌曲集』など多数のリート演奏会に出演している。また、バリトン小森輝彦氏の CD『R.シュトラウス歌曲集』(2019 年)、メゾソプラノ加納悦子氏の CD『A.ベルク 若き日の歌』(2021 年)の伴奏を務める。

その他には、モンゴル民族楽器、馬頭琴の数少ない伴奏者としても活動している。

現在、東京藝術大学声楽科非常勤講師。

